

## 重要取組シート

ICT イノベーション推進室

取組項目		情報システム標準化
現状・課題		<p>「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、国から指定された 20 業務について令和 7 年度末までに標準準拠システムへ移行する必要があるが、各業務がバラバラのスケジュールで移行を実施すると、その都度、システム間のデータ連携を構築する必要があり、職員の負担が大きく非効率である。さらには、市が実施したい業務と標準準拠システムとの Gap に有効な対策を全庁で共有することができず、最適な対策が図れたシステムとならない。そのため、標準準拠システムへ移行するにあたり、市全体の移行計画の策定、Fit&amp;Gap 分析による業務フローの見直し方法の指針の策定、情報共有など、20 業務に共通する項目を取りまとめ、業務所管課の負担軽減、進捗の管理、Gap 対応方針の統一化等を実施する必要がある。</p>
取組の内容		<p>各業務所管課と現行のシステムベンダーにより、稼働している情報システムの仕様と標準仕様との Fit&amp;Gap 分析を実施。その後、最適な対策が図れたシステムが導入できるよう、次の取り組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Fit&amp;Gap 対応支援（令和 4 年度）</li> <li>• Gap について、業務所管課等にヒアリングを実施（令和 4 年度）</li> <li>• Gap 対応の妥当性を評価し、妥当でない場合は見直し案の提示（令和 4 年度）</li> <li>• システム調達に向けての RFI 資料の雛形を作成（令和 4 年度）</li> <li>• 業務所管課が実施した RFI 結果の分析（令和 5 年度）</li> <li>• システム移行計画の詳細作成（令和 5 年度）</li> </ul>
スケジュール	前期 （～7月）	<input type="checkbox"/> （5月）標準化推進分科会の開催 <input type="checkbox"/> （6月）標準準拠システム移行支援業務契約 <input type="checkbox"/> （7月）Fit&Gap 対応支援
	中期 （～11月）	<input type="checkbox"/> （10月）業務所管課等にヒアリング（既に標準仕様公開の 10 業務）
	後期 （～3月）	<input type="checkbox"/> （12月）Gap 対応の妥当性評価（既に標準仕様公開の 10 業務） <input type="checkbox"/> （12月）業務所管課等にヒアリング（夏に標準仕様公開予定の 10 業務） <input type="checkbox"/> （2月）Gap 対応の妥当性評価（夏に標準仕様公開予定の 10 業務） <input type="checkbox"/> （3月）RFI 資料の雛形を作成
	次年度以降	<input type="checkbox"/> RFI 資料作成支援 <input type="checkbox"/> RFI 結果分析及び移行計画の詳細化
進捗の状況	前期 （～7月）	<input type="checkbox"/> （6月）標準化推進部会の開催 <input type="checkbox"/> （6月）標準準拠システム移行支援業務公告 <input type="checkbox"/> （7月）標準準拠システム移行支援業務入札不調
	中期 （～11月）	<input type="checkbox"/> （8月）標準準拠システム移行支援業務Ⅱ公告 <input type="checkbox"/> （10月）標準準拠システム移行支援業務Ⅱ契約 <input type="checkbox"/> （11月）Fit&Gap 対応支援

	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> (3月) RFI 資料の雛形を作成 <input type="checkbox"/> (3月) RFI の実施 <input type="checkbox"/> (3月) 全体移行計画案の作成	
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4- (1) 行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上	
	寄与する KPI	行政手続きのオンライン化率（国が優先的にオンライン化を推進する39の行政手続き） [現状値：58.1% (2019年度)]	目標値（2025 年度） 100%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 16	平和と公正を全ての人に
	寄与する KPI		目標値（2023 年度）